

1月食育だより

令和8年
千曲市第1学校給食センター



千曲市キャラクター「あん姫」

今月の目標

- 郷土の食べ物を知ろう
- 給食の歴史を知ろう

新年とともに3学期が始まります。かぜやインフルエンザなど感染症にかからないためには、丁寧に手を洗うこと、バランスのよい食事をとること、十分に睡眠をとって体を休めることが大切です。給食センターでは今年も安心安全でおいしい給食作りに努めてまいります。よろしくお願いいたします。

今年はうま年！



長野県の郷土食を

知ろう！



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり



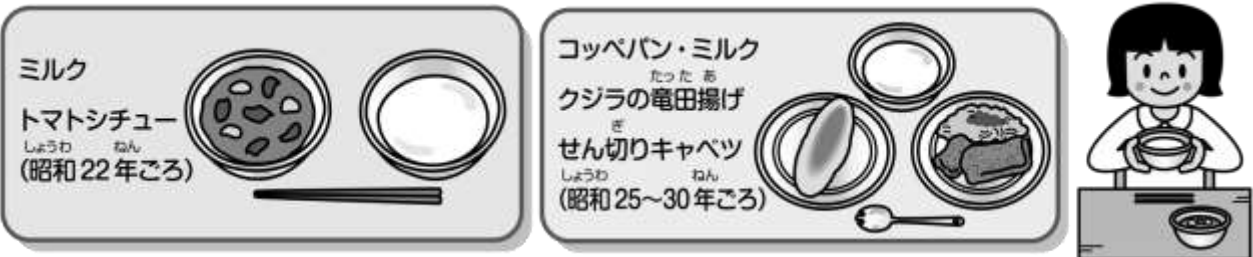
明治22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大誓寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物をを使って食事を用意していました。大正12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21 (1946) 年12月24日にLARA (アジア救援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



給食では、全国学校給食週間に合わせ「給食記念日献立」として、昔の給食の献立に寄せたメニューを1月23日 (金) に提供します。ご家庭でも日々の給食について話題にいただけるとありがたいです。

1月分の給食費の口座振替は2月2日 (月) です。